

# 大地震発生時における相模原市内の帰宅困難者数の推計について

本市における帰宅困難者対策の充実を図ることを目的に、第5回東京都市圏パーソントリップ調査（平成20年）のデータ等に基づき、大地震発生時における市内の帰宅困難者数を推計しました。【検討実施時期：平成25年度～平成26年度】

## 1 本推計の前提

### (1) 発災想定

大地震の発生時刻は、帰宅困難者等が最も多く発生すると想定される平日の正午とし、ライフライン（電力、通信、上水道、ガス）について一定の被害が生じていることとする。また、市内及び首都圏の鉄道はすべて運行を停止し、復旧の見通しが立たないこととする。

### (2) 用語の定義

#### ① 滞留人口

自宅以外の場所に留まっている人口

#### ② 移動中人口

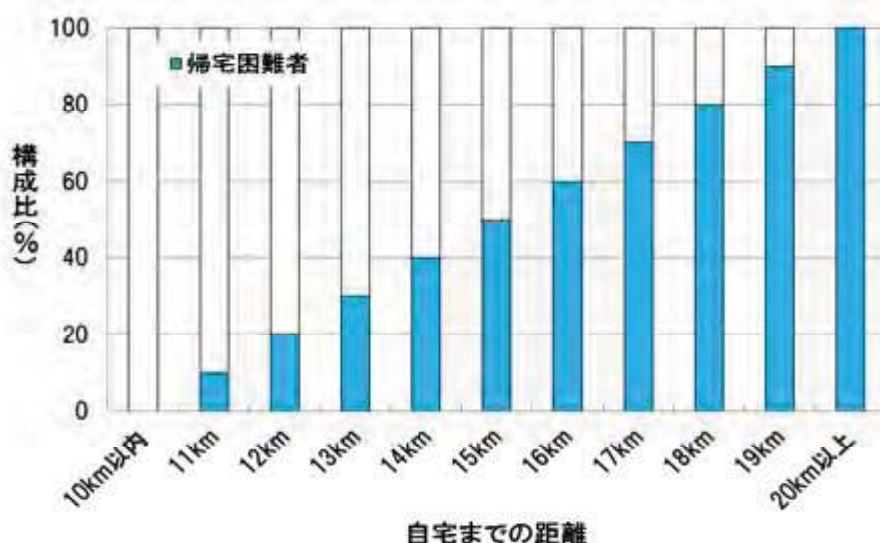
目的地に向けて移動中の人口

#### ③ 帰宅困難者

帰宅困難者とは一般的に、大地震発生時に自宅におらず、かつ自宅まで一定距離以上離れているため、自動車や鉄道などの移動手段が使えない場合に帰宅が困難な人を表す。

内閣府等では、滞留先・移動先から自宅までの距離により、「帰宅困難者」を次のとおり定義しており、本推計における「帰宅困難者」はこの定義を用いる。

- ・ 10km以内は、全員が徒歩帰宅可能（帰宅困難者とならない）
- ・ 10km～20kmは、1km毎に10%ずつ帰宅困難者の割合が増加
- ・ 20km以上は、全員が帰宅困難者



【表】 滞留人口・移動中人口に占める帰宅困難者の割合（自宅までの距離別）

## 2 市内の帰宅困難者数等

### (1) 滞留人口・移動中人口

平日の正午に鉄道がすべて運行を停止した場合における「自宅以外の場所に留まっている人（滞留人口）」と「目的地に向けて移動中の人（移動中人口）」の合計人数となります。具体的には、職場や学校にいる人、商業施設にいる人、公園等で休憩している人及び電車・車・徒歩等により移動中の人等が考えられます。

(単位：人)

市全体	市内主要駅（駅を中心とする半径1km圏内）		
	橋本駅	相模原駅	相模大野駅
312,432	22,609	16,879	22,373

【表】滞留人口・移動中人口（平日の正午）

### (2) 帰宅困難者数

滞留人口・移動中人口のうち、自宅までの距離が10km以内の人と、徒歩により帰宅できると想定される人（10kmを超える人の一定割合）を除いた人が帰宅困難者となります。具体的には、自宅までの距離が10kmを超える人で、職場や学校にいる人、商業施設にいる人、公園等で休憩している人及び電車・車・徒歩等により移動中の人等が考えられます。徒歩により帰宅できる人は自宅までの距離が長くなるほど、段階的に減っていくものと想定されています。

(単位：人)

市全体	市内主要駅（駅を中心とする半径1km圏内）		
	橋本駅	相模原駅	相模大野駅
47,379	3,428	1,856	3,631

【表】帰宅困難者数（平日の正午）

### (3) 帰宅困難者のうち、職場や学校などの所属場所を持たない人

帰宅困難者のうち、職場や学校など、所属する場所を持たない人が該当します。具体的には、商業施設にいる人、公園等で休憩している人及び電車・車・徒歩等により移動中の人等が該当します。これらの人は滞在する場所がないことが想定されることから、駅等に集中することが懸念されます。

(単位：人)

市全体	市内主要駅（駅を中心とする半径1km圏内）		
	橋本駅	相模原駅	相模大野駅
13,172	1,046	564	1,192

【表】帰宅困難者のうち、職場や学校などの所属場所を持たない人（平日の正午）

### 3 今後の取組

一斉帰宅抑制の基本方針に基づき、発災時には、「むやみに移動を開始しない」という基本原則のもと、市内の事業者等に従業員の留め置きやそのために必要な備蓄についての周知啓発を行い、一斉帰宅の抑制を図ります。また、帰宅困難者が発生した場合に備え、帰宅困難者が一時的に滞在できる施設として、一時滞在施設の確保を推進します。

<問い合わせ先> 帰宅困難者数の推計について：交通政策課（電話 042-769-8249）

帰宅困難者対策について：危機管理課（電話 042-769-8208）